



平成 19 年 2 月 26 日

各 位

栃木県宇都宮市昭和一丁目 2 番 18 号
株 式 会 社 宮
代表取締役社長 木 村 環
(コード番号 9901 : JASDAQ)
問合せ先 取締役 安野 真
TEL (028) 625 - 0038

吸収合併契約締結に関するお知らせ

当社は、平成 19 年 1 月 22 日公表の「合併に関する基本合意書締結及び合併に関する臨時株主総会基準日設定のお知らせ」に記載致しました通り、平成 19 年 3 月 31 日を期日とするアムゼ株式会社(以下、「アムゼ」という)との合併に関し、同社と協議を行ってまいりました。

この結果、本日開催の当社取締役会において、アムゼとの吸収合併契約の締結を決議致しましたので、下記の通りお知らせ致します。

記

1. 合併の目的

当社は、平成 18 年 7 月に株式会社コロワイド及び主要取引金融機関に対する第三者割当増資を実施し、コロワイドグループの支援のもと、遊休資産の処分及び本業である外食事業への特化を進めてまいりました。

今後は、本業の収益力強化が喫緊の課題となりますが、当社の主要業態のひとつである居酒屋業態を取り巻く事業環境は、外的要因及び同業他社との競争共に、より一層厳しさを増しております。

このような事業環境の変化に対し、当社では、ハード面では既存店舗の大幅なリニューアル及びメニューの変更、ソフト面ではコロワイドグループからのノウハウ・人材の受け入れにより、収益力の強化を図り、一定の成果を得ておりますが、今後の更なる事業環境の変化に対応する観点からも一層の収益力強化が不可欠であると判断するに至りました。

この点について、当社では、高度な人的資源・ノウハウを有する企業との経営統合により、会社組織に制限されない形での、営業現場への直接的な人的資源・ノウハウの注入が最適であると考え、アムゼとの合併により上記目的を実現してまいりたいと考えております。

アムゼは、コロワイドグループ内においても、とりわけ充実した人的資源・ノウハウを有しており、また当社との地理的關係からも、上記目的に照らして最も相応しい対象企業であると考えております。なお、アムゼは、居酒屋事業・カラオケ事業・レンタルビデオ事業を運営しておりますが、近年カラオケ事業はフード・ドリンクといった外食業的要素を強めており、ま

た「寧々家」・「いろはにほへと」などの居酒屋事業の強化・展開を図っていることから、同分野強化のパートナーとして最適な企業であると認識しております。

合併後は、上記店舗オペレーションの強化に加え、両社で培ったメニュー開発・店舗開発といった各機能の最適化、業態の相互活用、ロジスティクス機能の一元化及び本部体制の共通化を推進し、一層の収益力向上及びコスト削減を進めることで、合併後の両社の中長期的成長に大きく寄与するものと考えております。

2. 合併の要旨

(1) 合併の日程

合併契約承認取締役会	平成 19 年 2 月 26 日
合併契約締結	平成 19 年 2 月 26 日
合併契約承認臨時株主総会(宮及びアムゼ)	平成 19 年 3 月 29 日
合併期日(効力発生日)	平成 19 年 3 月 31 日
合併登記	平成 19 年 4 月 2 日

(2) 合併方式

当社を存続会社とする吸収合併方式によるものとし、アムゼは解散致します。

(3) 合併比率

	株式会社宮(合併会社)	アムゼ株式会社(被合併会社)
合併比率	1	4.1

(注) 1. 株式の割当比率

アムゼの株式 1 株に対して、当社の株式 4.1 株を割当て交付致します。

2. 合併により発行する新株式数等

普通株式 178,735,048 株

また、当社は、その保有する自己株式 24,952 株を合併による株式の割当てに充当するものと致します。

(4) 合併比率の算定根拠等

算定の基礎

当社及びアムゼは、合併比率の公正性を担保するべく、当社は太陽 ASG 監査法人を、アムゼは東京共同会計事務所を、各々第三者算定機関として採用し、合併比率の算定を依頼致しました。

これを受けて、太陽 ASG 監査法人及び東京共同会計事務所は、当社及びアムゼより提出したマーケット動向・分析、経営方針、利益計画及び財務予測に関する資料を前提とし、独立した専門家としての必要な分析・修正を実施した上で、ディスカウント・キャッシュ・フロー法(以下、「DCF 法という」)を算定方式として採用し、合併比率を算定致しました。

この結果、太陽 ASG 監査法人及び東京共同会計事務所は、DCF 法に基づく合併比率を各々 1:4.08 及び 1:4.27 と算定し、当社及びアムゼは、これらの報告内容を検討・協議の上、合併比率を 1:4.1 と決定致しました。

なお、上記利益計画において、アムゼは一定の利益成長を前提としておりますが、大幅な増減益は見込んでおりません。一方、当社は、事業の再構築への取組みの結果として当期に大幅な損失計上を見込んでおりますので、来期以降の中期的な利益計画は、当期に比して大幅な増益を予定しております。

算定の経緯

当社及びアムゼは、合併比率の算定方式の検討に際し、各々の算定機関と協議の上、DCF法を採用致しました。

なお、合併比率の算定方式としては、DCF法の他に、市場株価法及び修正純資産価額法等が考えられます。

しかしながら、市場株価法については、アムゼが非上場会社であり、合併当事者間の市場における相対評価が困難であること、当社は平成19年2月期において当期損失の計上を見込んでおり、市場株価法の適用が容易ではないこと、当社の過年度業績が必ずしも安定していなかったため、類似企業との比較において確証の得られる客観的な計数の算出が困難であることから、採用しないことと致しました。

また、修正純資産価額法等の純資産価額に基づく算定方式については、当社が事業再構築中であり純資産比率が一時的に低くなっていること、事業継続を前提とした事業価値の算定においては、企業の静的価値に着目する純資産価額に基づく算定方式は必ずしも適切ではないことから、採用しないことと致しました。

一方、DCF法については、アムゼの過年度業績が比較的安定しており、今後も一定水準の収益が期待されること、当社においても平成18年7月の第三者割当増資等の実施により、将来収益の予測が合理的な範囲で見込まれることから、両社の中長期的な成長性を含む事業価値を合理的に算定する手法として採用することと致しました。

算定機関との関係

太陽ASG監査法人及び東京共同会計事務所は、当社またはアムゼの関連当事者に該当致しません。

(5) 被合併会社の新株予約権及び新株予約権付社債に関する取扱い

アムゼは、新株予約権及び新株予約権付社債を発行しておりません。

3. 合併当事会社の概要

(平成 19 年 1 月 31 日現在)

(1) 商号	株式会社宮 (合併会社)	アムゼ株式会社 (被合併会社)
(2) 主な事業内容	北関東・東北・北陸地区における直営・FC 飲食チェーンの経営	東北地区における直営・FC 飲食チェーン(カラオケ店含む)及びレンタルビデオ店の経営
(3) 設立年月日	昭和 50 年 5 月 12 日	昭和 48 年 9 月 17 日
(4) 本店所在地	栃木県宇都宮市昭和一丁目 2 番 18 号	宮城県仙台市青葉区一番町二丁目 1 番 2 号
(5) 代表者の役職・氏名	代表取締役社長 木村 環	代表取締役社長 小澤 俊治
(6) 資本金の額	6,294 百万円 (平成 18 年 8 月 31 日現在)	400 百万円 (平成 18 年 9 月 30 日現在)
(7) 発行済株式総数	普通株式 38,309,500 株 優先株式 32 株 (平成 18 年 8 月 31 日現在)	普通株式 43,600,000 株 (平成 19 年 2 月 26 日現在) 平成 19 年 2 月 24 日付で、1 対 10 の株式分割を実施したため、前回公表時から変更が生じております。
(8) 純資産	219 百万円 (平成 18 年 8 月 31 日現在)	3,221 百万円 (平成 18 年 9 月 30 日現在)
(9) 総資産	14,955 百万円 (平成 18 年 8 月 31 日現在)	8,176 百万円 (平成 18 年 9 月 30 日現在)
(10) 事業年度の末日	2 月末日	3 月 31 日
(11) 従業員数	382 名 (年間平均臨時雇用者 2,122 名) (平成 18 年 8 月 31 日現在)	149 名 (年間平均臨時雇用者 1,062 名) (平成 18 年 9 月 30 日現在)
(12) 主要取引先	一般顧客他	一般顧客他
(13) 大株主及び持株比率	普通株式 株式会社コロワイド 52.2% 鈴木 栄一 6.6% 優先株式 株式会社足利銀行 62.5% 株式会社栃木銀行 31.2% 株式会社東和銀行 6.2% (平成 18 年 8 月 31 日現在)	普通株式 株式会社コロワイド 100.0% (平成 18 年 9 月 30 日現在)
(14) 主要取引銀行	足利銀行・栃木銀行・東和銀行 みずほ銀行・あおぞら銀行	みずほ銀行
(15) 当事会社間の関係等	資本関係	合併会社・被合併会社間の資本関係はありませんが、共に株式会社コロワイドの子会社に該当致します。
	人的関係	該当ありません。
	取引関係	該当ありません。
	関連当事者への該当状況	合併会社と被合併会社は、株式会社コロワイドを同一の親会社としてもつため、被合併会社は合併会社の関連当事者に該当致します。

(注) (8)・(9)・(11)につきましては、被合併会社は連結財務諸表を作成しておりませんので、合併会社は連結、被合併会社は個別の数値を記載しております。

(16) 最近3決算期間の業績

決 算 期	株式会社宮 (合併会社)			アムゼ株式会社 (被合併会社)		
	平成 16 年 2 月期	平成 17 年 2 月期	平成 18 年 2 月期	平成 16 年 3 月期	平成 17 年 3 月期	平成 18 年 3 月期
売 上 高	22,465 百万円	21,912 百万円	20,417 百万円	6,528 百万円	6,184 百万円	6,762 百万円
営 業 利 益 又 は 損 失 ()	121 百万円	366 百万円	571 百万円	762 百万円	588 百万円	764 百万円
経 常 利 益 又 は 損 失 ()	158 百万円	124 百万円	823 百万円	781 百万円	618 百万円	738 百万円
当 期 純 利 益 又 は 損 失 ()	717 百万円	234 百万円	1,519 百万円	426 百万円	304 百万円	258 百万円
1 株 当 たり 当 期 純 利 益 又 は 損 失 ()	39 円 21 銭	12 円 84 銭	83 円 03 銭	97 円 75 銭	69 円 82 銭	59 円 20 銭
1 株 当 たり 配 当 金	-	-	-	10 円	-	-
1 株 当 たり 純 資 産	274 円 80 銭	274 円 61 銭	211 円 16 銭	1,380 円 96 銭	748 円 56 銭	726 円 87 銭

(注) 被合併会社は連結財務諸表を作成しておりませんので、合併会社は連結、被合併会社は個別の数値を記載しております。

4. 合併後の状況

(1) 商 号	株式会社ジクト
(2) 主 な 事 業 内 容	北関東・東北・北陸地区における直営・FC 飲食チェーン(カラオケ店含む)及びレンタルビデオ店の経営
(3) 本 店 所 在 地	栃木県宇都宮市昭和一丁目 2 番 18 号
(4) 代 表 者 の 役 職 ・ 氏 名	代表取締役社長 木村 環
(5) 資 本 金 の 額	6,294 百万円 (合併による資本金の増加は予定しておりません)
(6) 純 資 産	3,440 百万円
(7) 総 資 産	23,231 百万円
(8) 事 業 年 度 の 末 日	2 月末日

(注) 1. 合併効力発生日である平成 19 年 3 月 31 日を以って、商号変更を予定しております。なお、詳細につきましては、本日別途公表致しました「商号の変更に関するお知らせ」をご参照下さい。

2. (6)・(7)につきましては、合併会社の平成 18 年 8 月末日における実績(連結)及び被合併会社の平成 18 年 9 月末日における実績(個別)を単純合算の上、記載しております。

(9) 会計処理の概要

企業結合に関する会計基準上、共通支配下の取引に該当致しますので、「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」第 247 項に基づき会計処理を実施致しません。このため、「のれん」は発生しない見込です。

(10) 合併による業績への影響・見通し

平成 19 年 2 月期業績への影響は、生じない見込です。また、今後の業績への影響につきましては、平成 19 年 2 月期決算短信に併せて、発表する予定です。

以 上